



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 30

発行 令和2年11月6日
発行責任者 校長 菅野 靖



県南中学生新人卓球大会 女子団体オープンの部 第3位

11月3日(火)に、須賀川市中央体育館において、令和2年度県南新人卓球大会の団体戦が行われ、五箇中学校の女子卓球部の4名が参加してきました。今までの練習の成果を発揮し、見事、第3位を獲得しました。

1回戦は須賀川第三中学校と対戦し、4対1で勝利(4人全員が勝利)し、2回戦は矢祭中学校と対戦し、3対1(先に3勝したチームの勝利)で勝利しました。準決勝戦は、中島中学校と対戦し、惜しくも2対3で惜



敗してしまいました。対戦内容は、5人の選手で対戦するので、1番手は不戦負けで、2番手の齋藤さんと3番手の鈴木さんが勝利し、先に2勝しました。4番手の大塩さんは惜しくも2-3で負けてしまい、5番手の高松さんはあと1点で勝利というところまで相手を追い詰めましたが、惜しくも2-3で負けてしまい、決勝戦には進出できませんでした。しかし、人数が少ない中、第3位は、本当に大健闘だったと思います。心から、祝福の拍手を送りたいと思います。おめでとうございます!

4名の選手の大会に参加しての感想が次の通りです。

齋藤さん…練習の成果が発揮でき3位入賞したので、来年の中体連の団体戦でも1位目指して頑張ります。

鈴木さん…先輩方を目標に活動してきたが、去年は勝てなかったので、リベンジできました。

大塩さん…1勝してから自信を取り戻し練習の成果が発揮できましたが、3位は悔しいです。

高松さん…先輩に迷惑やプレッシャーをかけないように、優勝目指して頑張れました。

東西しらかわ中体連新人戦卓球大会では、団体戦に参加できず、悔しい思いをしましたが、今回は、4人で参加し、雪辱を果たしました。準決勝戦で後一步の所で負けてしまいましたが、本当に、とてもいい試合でした。中体連新人大会の結果を受け、一人ひとり目標を新たに立てて、毎日の練習に励んできた結果が現れたのだと思います。これからも、「努力は必ず実を結ぶ」という信念をもって、次の目標に向け努力を続けてください。卓球部の更なる活躍と一人ひとりの飛躍を期待しております。

全学年で「命の授業」が行われました

10月27日(火)に、助産婦の松本美津子先生を講師としてお招きし、「命の授業」が行われました。

1年生は、「二次性徴」についてお話をいただき、男女の性について学びを深めました。2年生は、命の誕生についてお話をいただき、妊婦体験や赤ちゃん人形をだっこする体験も行われました。3年生は、「性感染症」について講話をいただき、感染症を予防することや自分や他人を大切にすることについて学びました。松本先生は、どの学年でも、「一人ひとりが、かけがえのない大切な命である」との言葉を述べられ、生徒の一人ひとりには真剣な表情で話を受け止めていました。

親から授かった命の尊さについて、学ぶ良い機会でした。これからも自分の命を大切に、自分やまわりの人を大切に思う気持ち、感謝する心を忘れずに生活して欲しいと思います。保護者の方々も、是非、お子さんに「命の授業」での話を聞いていただき、命の尊さについて話す機会にしてみてください。

